

野球 第101回全国高等学校野球選手権滋賀大会

2回戦 彦根東 7 - 4 比叡山

TEAM	一	二	三	四	五	六	七	八	九	R
比叡山	0	1	0	1	2	0	0	0	0	4
彦根東	0	0	3	0	0	2	1	1	X	7

シーリーゲームを制す

二回戦突破



▶最終回を無得点に抑えた根元龍馬君（3-2）



▲喜びを胸に校歌を斉唱する選手と応援席

7月16日に皇子山球場で第101回全国高等学校野球選手権滋賀大会の2回戦が行われた。本校は比叡山高校と対戦し7-4で勝利した。



速報新聞

キマグレ

発行所
彦根東高等学校

新聞部

彦根市金亀町4番7号

相手に先制点を許したまま迎えた三回裏の本校の攻撃。二死満塁の場面で中谷凌君（3-5）がタイムリー三塁打を放ち、本校がこの回で一気に3点を挙げた。しかしその後、相手に得点を奪われ逆転され試合は揺らぐ。4-3で後半戦に突入し、なんとか相手を追い越したい本校の攻撃。6回裏に加藤陽也君（3-5）が同点打を、森野隼人君（3-2）が勝ち越し打をそれぞれ決めた。続いて7回裏には川嶋清太君（3-5）がタイムリー適時二塁打を放ち1点を追加。8回裏では森岡優仁君（2-3）のタイムリー二塁打によりもう一点と7点目を加える。本校が7-4で2回戦を突破した。

先発投手を務めた中谷君は試合を振り返って「乱打戦で点の取り合いだった。耐えてみんなが一勝できたらと思っただけでプレッシャーはなかった。6回に同点打を打った加藤君はそのときの心境を「あの回で追いつけたらノリに乗っていきけると思ってた。だから絶対打とうという気持ちだった」と明かした。

森野君は6回に勝ち越し打を決めたことを「流れもあった」と意気込まれた。

監督の村中隆之先生は試合を「100%の力は出せるかわからないが、90%の力は出せるようにと言っていた。今回は出すことができていたと思う。練習試合でうまくできなかったこともできていた」と振り返られた。チームについては「今年は乗ってくるみんながシンクロするということ、一人が打ちだすとみんなが打ちだす。それがどういう形で出るかが今日のテーマの一つではあった」と説明された。次の試合に向けて「相手に合わせるわけではない。自分たちのできることを次の試合までに増やせるように練習したい」と意気込まれた。